

# 玄海原子力発電所

## 第 4 号機

### 定期事業者検査時の安全管理の計画































玄海原子力発電所第4号機 第14回定期事業者検査時の安全管理の計画

15/15

主要工程		▽解列 RCS 降温										燃料取出			燃料表荷		RCS 漏えい検査		並列▽調整運転					
		R/V 開放										1次系弁・機器類点検		R/V 組立		起動試験								
RCS水位	キャビティ満水																							
	RCS満水																							
	ミッドレベル																							
	RCS全ブロー																							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	4	3	
重大事故等対処設備(続き)	第83条(表83-20) 通信連絡設備	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	表83-20に定める機能が、それぞれの適用モードにおいて動作可能であること	関連設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第83条(表83-21) アクセスルートの確保	モード3、4、5、6及び使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・ホイルローダの所要数及使用可能であること	関連設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、作業工程等の変更により計画の変更が生じる可能性があるが、仮に変更が生じた際に、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

(記載例)

○	: 機能要求あり
△	: 機能要求あり (要求モードにおける条件付)
□	: 機能要求なし

《運転モード参考》

モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタットポルトの状態
3	1次冷却材温度177℃以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度93℃超177℃未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度93℃以下 (RCS 満水)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度93℃以下 (RCS 非満水)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度93℃以下 (キャビティ 低水位)	1本以上が緩められている
6-2	1次冷却材温度93℃以下 (キャビティ 高水位)	1本以上が緩められている (全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—

※なお、上記「○」、「△」においても、要求除外となる場合がある。詳細は原子炉施設保安規定を参照。